

令和6年度 京都府立大学 一般選抜試験（前期日程）
入学者選抜学力検査「歴史」

<日本史>

○解答例・出題意図

1 歴史学科120点、他学科60点

- (A) 問1 修験（3点） 問2 神宮寺（3点） 問3 本地垂迹説（3点）
問4 室生寺（3点）
(B) 問5 小田原（3点） 問6 朝倉（3点）
問7 寺内（町）・門前（町）（3点×2） 問8 塵芥集（3点）
問9 寧波の乱（3点）
(C) 問10 金禄公債証書（3点） 問11 官営事業払い下げ（3点）
問12 政商（3点） 問13 （1）華族らの出資で設立された（2）日本最初の私設鉄道会社、（3）後に鉄道国有化されるなどのうち（3点×2=6点）
問14 渋沢栄一（3点） 問15 松方正義（3点） 問16 秩父事件（3点）
問17 民法（旧民法、ボアソナード民法）（3点） 問18 職業婦人（3点）

2 歴史学科140点、他学科70点

- (A) 問1 対馬（3点） 問2 法華（妙法蓮華）（3点） 問3 三別抄（3点）
問4 フビライ（フビライ=ハン，クビライ，忽必烈汗）（3点）
問5 立正安国論（3点）
(B) 問6 （足利）義政（3点） 問7 徳政（3点）
問8 将軍を補佐する役で、諸国の守護に将軍の命令を伝達した。足利一門の有力守護である細川氏，斯波氏，畠山氏が就いた。（6点）（将軍補佐・守護への伝達：3点，細川・斯波・畠山：各1点） 問9 政所（3点）
問10 僧録（鹿苑僧録）（3点） 問11 天皇即位後に最初に新穀を捧げる祭祀（新嘗祭）（4点）（即位後初：2点，新嘗祭2点）
(C) 問12 神奈川（3点） 問13 江戸（3点）
問14 雑穀・水油（菜種油）・蠟・呉服・生糸（糸）の内（2点×2=4点）
問15 五品江戸廻送令（五品江戸廻し令）（3点）
(D) 問16 総裁・議定（3点×2=6点） 問17 徳川慶喜・孝明天皇（3点×2=6点）
問18 1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが、浦賀に来航し、フィルモア大統領の国書を持参し、日本に開国を求めた。（5点）
問19 王政復古の号令（3点）

3.4 （各70点）

- (A) 古代の学術振興について、政治運営との連関の側面を踏まえつつ論じることを求める。

①遣隋使に同行した南淵請安・高向玄理・僧旻たちが中国の制度・文化についての新知識をもたらし、七世紀半ば以降の政治体制構築に大きな影響を与えた。

②乙巳の変を契機として成立した大化改新政府には、高向玄理・僧旻が国博士と

して参加する。

③律令制下では、中央に大学、地方に国学が置かれ、官吏の養成が図られた。前者には貴族の子弟等、後者には郡司の子弟等が入学した。

④平安時代になると、文芸を中心として国家の隆盛を目指す文章経国思想がさかんととなり、嵯峨天皇は文学にすぐれた貴族の政治登用を積極的に行った。

⑤有力貴族たちは、大学に学ぶ子弟のために、大学別曹と呼ばれる寄宿施設を設けた。藤原氏の勸学院、皇親一族のための奨学院などがある。

(B) 日本近世社会の基盤であった村について、村内部の構造については勿論、政治・社会の仕組み全体と関連付けながら理解できているかを問う問題である。なお、論述にあたって手がかりとなる語句を提示して問い、近世村落の特徴を正確に理解できているかどうかを問うた。日本近世の村請制について、幕府や諸大名・旗本などは各村の自治に依拠してはじめて年貢・諸役を割り当てて収納し、また村民を掌握できた点について正確に理解し、なおかつ論理的に説明できているかを中心に評価した。

(C) 1960年代から1970年代前半の日本の外交問題について、各国との関係と関連付けながら理解できているかを問う問題である。

- 1) ベトナム戦争の本格化と沖縄の基地の役割を理解しているか
- 2) アメリカが日韓を反共のとりでにし、日韓国交正常化が導かれたこと
- 3) 沖縄における祖国復帰運動とニクソン・佐藤栄作による沖縄返還交渉
- 4) アメリカのニクソンの対中政策および、日本もそれにならい中華人民共和国と国交正常化したこと

<世界史>

○解答例・出題意図

1 (配点 歴史学科は120点、他学科は60点)

問1 ソロン

問2 クレイステネス

問3 ファランクス

問4 テミストクレス

問5 パルテノン神殿

問6 「父母に孝順なれ、目上を尊敬せよ」など漢武帝が民衆教化のために定めた六箇条の教訓で、里老人に毎月6回唱えさせた。 6点/12点

問7 海禁政策

問8 マラッカ

問9 正統帝

問10 ソンツェン=ガンボ

問11 アルタン=ハン

問12 活仏

問13 モンゴル・チベット・青海・新疆を藩部として、中央に藩部を管理する理藩院を設置し、モンゴル王公、ダライ＝ラマ、ウイグル人有力者を現地の支配者として存続させ、清の派遣する監督官とともにそれぞれの地域を支配させた。

6点/12点

問14 フィリップ4世

問15 球戯場の誓い

問16 封建的特権の廃止

問17 ラ＝ファイエット

問18 国民公会

問19 壬午軍乱

問20 金玉均

問21 福沢諭吉

問22 エーベルト

問23 シュトレーゼマン

問24 ルール

問25 1929

問26 全権委任法

2 (配点 歴史学科は80点、他学科は40点)

問1 董仲舒

問2 春秋

問3 孔穎達

問4 紀伝体

問5 漢書

問6 仏国記

問7 雲崗／龍門

問8 太武帝

問9 竹林の七賢

問10 文選

問11 ゲルマーニア

問12 フィリップ2世

問13 シモン＝ド＝モンフォール

問14 模範議会

問15 権利の請願 (権利請願)

問16 独立派

問17 1679

問18 腐敗選挙区

問19 フェビアン協会

問20 議会法 (議院法)

3

(配点 100点)

(A) 【出題意図】

本問は北宋の政治動向に対する理解、とりわけ、初代皇帝の趙匡胤が藩鎮勢力を抑えるため、文治主義を採用したこと、科挙に殿試を加え、官僚と皇帝との結びつきが強められたことなどを、手がかりとなる語句を示して理解を問うた。そのさい、重要な用語の使用を義務づけて、それぞれの用語、また用語間の関係があらわす時期的な範囲・歴史の推移を正確に把握、理解できているか、また適切な表現ができるか、を総合的な評価のめやすとした。

(B) 【出題意図】

本問は、いわゆる17世紀の危機の中で起こった宗教戦争であるドイツ三十年戦争の背景とその帰結であるウェストファリア条約をもとにこの戦争がヨーロッパ全体に与えた影響に関する理解を問うた。そのさい、重要な用語の使用を義務づけて、それぞれの用語、また用語間の関係があらわす時期的な範囲・歴史の推移を正確に把握、理解できているか、また適切な表現ができるか、を総合的な評価のめやすとした。

4

(配点 100点)

(A) 【出題意図】

本問は中国近代史上で重要な中英関係の発端を、とくにアヘン戦争前後にしぼって論述させる設問である。そのさい、重要な用語の使用を義務づけて、適切な用語の選択、それぞれの用語、また用語間の関係があらわす時期的な範囲・歴史の推移を正確に把握、理解できているか、また適切な表現ができるか、を総合的な評価のめやすとした。

(B) 【出題意図】

本問は、クリミア戦争での敗北がロシアにとって大きなショックであったこと、そのため同戦争中に即位したアレクサンドル2世が農奴解放令を含めた自由主義改革に乗り出すこと、しかし、改革の動きがポーランドの反乱を誘発したため、結局この改革はとん挫したこと、またこの改革の影響として、一部の知識人が農村に入って農民を啓蒙し農村共同体を基盤に社会主義を広めようとするナロードニキの運動が始まり、その後の社会主義弾圧やテロリズムの時代につながっていく流れについて理解を問うた。そのさい、重要な用語の使用を義務づけて、適切な用語の選択、それぞれの用語、また用語間の関係があらわす時期的な範囲・歴史の推移を正確に把握、理解できているか、また適切な表現ができるか、を総合的な評価のめやすとした。